

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	18 - 学長 - 7
-----------------	-------------

平成 18 年度配分 研究成果の概要

研究名	静岡文化芸術大学の室内楽演奏会2 ベートーヴェンのアンサンブル				
配分を受けた特別研究費	学長 特別研究費 2780 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	文化政策	芸術文化	准教授	小岩 信治	演奏会プログラミングの監修
共同研究者	文化政策	芸術文化	教授	平野 昭	プロジェクト全体の監修
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 8 号 (2008年3月発行予定)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本研究は、平成17年度の「ショパンの室内楽を、19世紀のサロンの響きで」（浜松・東京で開催、静岡文化芸術大学の室内楽演奏会1）に続く演奏会を本学が主催することにより、本件研究者の研究活動を基盤に、本学の広報・教育活動に寄与しつつ、19世紀ピアノ音楽の演奏拠点として、浜松地域の文化力を高めることに貢献するものである。

(研究の実施方法等)

前年度と同様、浜松および東京、そして新たに静岡で、浜松市楽器博物館所蔵ものなどフォルテピアノ（歴史的ピアノ）を使った演奏会を行った（添付の演奏会チラシ、プログラム冊子を参照）。浜松公演は2007年1月13日にアクトシティ浜松音楽工房ホール、静岡公演は2月8日に静岡音楽館AOI、東京公演は3月3日に第一生命ホールで実施した。演目は、ベートーヴェンの室内楽作品と協奏曲「室内楽版」で構成し、研究者の専門性を活かしつつ前年度との継続性をアピールする内容とした。東京公演については、前年度同様、すぐれた演奏会企画で知られるトリトン・アーツ・ネットワークと協働し、事前の普及活動（3月1日に行われたプレイベント）に学生を参加させた。

(得られた成果等)

浜松からの文化の発信を本学主導で行うことによって、本学の名前と結びついた浜松地域の文化力の向上に貢献した。また、上記研究者による西洋音楽史研究の成果を公開する機会となるとともに、本学学生（とくに芸術文化学科学生）の学外実習の機会となった。

今年度はとくに、静岡での公演を展開することによって、「室内楽演奏会1」とは異なる点で本学・本研究の活動をアピールすることになった。第一に、「演奏会を企画する大学」として静岡地区での広報活動を行った。地域FM、音楽教室のネットワークなどを活用することで、本学の演奏会活動について音楽関係者への周知を行い、浜松同様約200名の来場者を迎えることができた。第二に、芸術文化学科片山泰輔研究室と連携した集客プロジェクトによって、愛知県の音楽大学生が20名来場した。芸術文化学科学生に対するファンディングの実習を兼ねて行うこうした聴衆の開拓の手法は、現在準備中の「室内楽演奏会3」にも活用される。

なお浜松公演は「室内楽演奏会1」と同様来場者200名超で満席となり、東京公演は300名の来場者で盛況となった。

各公演の詳細については、上記のとおり本学研究紀要で公開される。

浜松遠州版

記事詳細は
下記ページへ

古楽器の音に聴衆酔う

静岡文化芸術大学など 浜松で室内楽演奏会



古楽器を使いベートヴェンの楽曲を演奏する出演者。浜松市のアンソニー浜松で

古楽器のフォルテピアノやバイオリン、チェロなどを使った室内楽演奏会が十三日、浜松市のアンソニー浜松音楽工房ホールであった。静岡文化芸術大学と市楽器博物館が主催し、約百八十人が室内楽のアンサンブルに臨み入った。

一八〇八年ごろに製作され、一九九五年から同館に展示されているフォルター作のフォル

テピアノを使用。ピアニストで東京芸大非常勤講師も務める小倉眞夕子さんがベートーヴェンのアンサンブルと題し、十九世紀初頭に作曲されたピアノ協奏曲第四番「室内楽編」、交響曲第二番「ピアノ三重奏版」などを演奏し、聴衆を酔わせた。

静岡文化芸術大学の室内楽演奏会とは同大の小倉信治講師らが企画し昨年二月に第一回を開催。今回が二回目で二月八日に静岡公演、二百三百には東京公演も予定している。

問い合わせは又エック・デア・フリーゲル 電話048(688)4921へ。

(鎮西葵)

Ludwig van Beethoven

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
(1770-1827)

on period instruments



A. ヴァルター
Anton Walter & Son (Vienna, c.1810)
弦楽器式、鉄フレーム、フック、
調音ロッド、鍵盤板は木製
Aプログラム 浜松・東京で使用楽器

ヴァルターが設計したターネ作
Chris Mann (1995)
after A. Walter (1795)
はね、鍵盤板、フレーム、エスケープメント
63型(1795) 小倉貴久子蔵
Bプログラム(静岡) 使用楽器

A. ヴァルターのフォルテピアノとともに ベートーヴェンのアンサンブル

フォルテピアノ
小倉 貴久子

ヴァイオリン 桐山建志

チェロ 花崎 薫

ヴァイオリン* 高木 聡

ヴィオラ* 藤村政芳

ヴィオラ* 長岡聡季

*Aプログラムのみ

Aプログラム (浜松・東京)

- ピアノ協奏曲 第4番
H.W. キューテン編「室内楽稿」
- 交響曲 第2番「ピアノ三重奏版」
- ピアノ・ソナタ 第17番 (〈テンペスト〉)

Bプログラム (静岡)

- 交響曲 第2番「ピアノ三重奏版」
- ヴァイオリン・ソナタ (〈春〉)
- 《魔笛》の主題による変奏曲
- ピアノ・ソナタ 第8番 (〈悲愴〉)

静岡文化芸術大学がお届けする室内楽シリーズ第2弾のテーマはベートーヴェン。室内楽編成の《ピアノ協奏曲 第4番》など、あるときはオーケストラ風に響き、あるときは独奏の美しさを湛えるアンサンブルの世界を、再び浜松市楽器博物館のフォルテピアノなどとともに、名手たちの演奏でお楽しみください。

浜松 2007 1月13日(土)

14:00開演(13:00開場)

アクティビティ浜松音楽工房ホール
(大学プレイベント:2006年11月29日)
Aプログラム
全席自由:一般3,000円/学生1,500円
主催:静岡文化芸術大学 文化芸術研究センター
浜松市楽器博物館
後援:静岡県教育委員会 浜松市教育委員会

静岡 2007 2月8日(木)

19:00開演(18:30開場)

静岡音楽館 Aoi
(プレイベント:2006年12月8日)
Bプログラム
指定席:一般3,000円/学生1,500円
主催:静岡文化芸術大学 文化芸術研究センター
静岡県教育委員会 静岡市教育委員会

東京 2007 3月3日(土)

18:00開演(17:30開場)

第一生命ホール
(プレイベント:2007年3月1日)
Aプログラム
指定席:一般4,000円/学生2,000円
(第一生命ホール5周年記念コンサート)
主催:静岡文化芸術大学 文化芸術研究センター
NPOトロン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール
協力:浜松市楽器博物館
後援:静岡県教育委員会

静岡文化芸術大学の室内楽演奏会 2

静岡文化芸術大学 企画
SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE
Hamamatsu Museum of Musical Instruments
浜松市楽器博物館
NPOトロン・アーツ・ネットワーク
第一生命ホール
3公演共通お問い合わせ先:メヌエット・デア・フリュエーゲル
Tel・048-688-4921 e-mail・mdf-ks@h7.dion.ne.jp